

草津市健幸都市づくりワークショップ

参考資料3

【目的】 市民から広く意見をいただき、第2期草津市健幸都市基本計画に反映する。

【実施方法】 グループワーク形式での意見交換

※募集開始後、新型コロナウイルス感染症の状況によりオンラインとの併用開催に変更

【対象】 市内で健康に携わる活動を行っている方や関心のある方

【テーマ】 ①あなたが健幸だと思うこと ②健幸が広がるために必要なこと

※第1期計画の全体目標「草津市が『健幸なまち』だと思う市民の割合」がどうしたら増えるのかについても意見をいただいた。

【実施日程】 ①8月30日（月）18：30～20：10 ②8月31日（火）10：00～11：40 ※2日とも同内容で実施

【参加人数】 計21人（コロナの状況や開催方法の変更により、数件のキャンセルあり）



テーマ：あなたが健幸だと思うこと

主な意見

- ・居場所がある
- ・地域で自分の役割がある
- ・仲間がいる
- ・趣味を楽しめる
- ・生きがいを持って暮らせる
- ・健康のために何か実践している
- ・持病があっても毎日楽しく過ごせる など
- ・交流の場がある
- ・身体も心も健康である
- ・家族が健幸である
- ・毎日やることがある

テーマ：健幸が広がるために必要なこと （『健幸なまち』だと思う市民の割合がどうしたら増える？）

主な意見

- ・健幸について知ってもらう
- ・健幸の思いを持つ
- ・生きがいを作れるまちづくり
- ・仲間が集い活動できる機会
- ・働く場所や機会をつくる
- ・外に出られない人を参加につなげる中間機能
- ・健康を意識していない人が健康づくりをする など
- ・地域の行事
- ・意欲をもって生活する
- ・ボランティア活動
- ・情報の提供や共有

今後の課題

- 「地域の行事」「仲間が集い活動できる機会」などの意見があり、集いの場や機会をつくっていくことが必要である。一方で、コロナ禍で不安があるとの意見もあり、感染症対策をふまえた交流が必要である。
- 「健幸について知ってもらう」や「健幸の思いを持つ」などの意見が挙がった。地域等で活動している方々だけでなく市民の皆さんにも、自分たちの活動や行動が健幸につながっているという認識を深めてもらうことで、「草津市が『健幸なまち』だと思う市民の割合」の増加につなげることが必要である。